



外国人技能実習制度の“今”を伝える

iBridge

アイブリッジ通信



技能実習導入を
ご希望・ご検討の
法人様は
右記、担当まで
お問い合わせください。



アイブリッジ協同組合では、結核対策を重要課題と考え、内定直後は勿論のこと、日本への入国前にも、実習生が母国で行う胸部X線検査に加え、公益財団法人結核予防会の協力のもとX線画像の再読影を行っています。

結核予防会は、国民の疾病予防と健康増進に寄与するとともに、結核研究所を中心に世界的課題である途上国の結核対策に国際的に貢献することを目的にした組織です。所管は、当組合の代表理事が局長を担っていた厚生労働省健康局です。

実習生の健康は勿論のこと、病院の患者様、施設の利用者様、職員様にも安心していただけるよう取り組んでいます。

今回は、社会医療法人製鉄記念室蘭病院様の取り組みをご紹介します。

社会福祉法人製鉄記念室蘭病院様のご紹介



社会医療法人製鉄記念室蘭病院様(以下、製鉄記念室蘭病院様)は、北海道室蘭市に所在する病床数374床、診療科数27の総合病院です。急性期病院として、外国人技能実習を看護助手で採用、育成する方針を決定され、現在、熱心に取り組んで頂いている法人です。また、その技能実習の取組が地元紙に掲載されるなど話題となっています。

製鉄記念室蘭病院様で経営企画課に所属され技能実習生の生活指導員を担当されている、仙波愛里沙様が今回、院内で開催された研究発表会で指導・管理の課題対応と成果について発表されました。

急性期病院の看護助手として採用して育成に取り組んでいる製鉄室蘭病院様の今回の発表は、外国人技能実習生採用を検討している法人様に変参考となる内容と思われるので、是非ご覧ください。

研究発表ご紹介(抄録より)

演 題

外国人技能実習生雇用における生活指導員としての取組み

目 的

2023年8月、看護助手業務の担い手を安定的に確保するため、当院では、初めて外国人技能実習生(ミャンマー人)2名を看護助手として受け入れを行うことになり、実習生受入の際、専任配置が必要となる生活指導員に任命された。

生活指導員には、技能実習生の日常生活における管理、指導や、相談への対応、サポートにより失踪やトラブルの発生を未然に防ぐ役割があることから、慣れない日本での生活の中で安心して勤務できるよう、様々な困りごとに対し相談に乗りながら技能実習生が安心して業務に従事できるよう、様々な困りごとに対し相談に乗りながら、技能実習生が安心して業務に従事できるよう様々な取組を行った。



方法

(1)日常生活における管理・指導

入職後、ごみの収集方法などの日本独自の習慣・ルールなどを、わかりやすい日本語でまとめた資料を作成し説明を行った。

また、生活必需品の買い出しに同行するなどした。

(2)技能実習生からの相談事に対応

週2回技能実習生と面談を設け、日常生活での困りごとや、悩みごとを聞き、些細なことでも相談してもらえる様な関係づくりを意識した。

その中で、日本の気候に慣れず寒いとの相談を受ければ、一緒にダウンジャケットを購入しに行く等、きめ細やかな対応を心掛けた。(12月末時点で34回)



(3)監理組合との連携

アイブリッジ協同組合との月例会議を開催し、配属先の病棟課長も交えて、業務の実施状況や他病院での指導方法等、情報の共有を行った。

(12月末時点で4回実施)、また、技能実習生より、勤務時間／給与について問い合わせがあった際は、アイブリッジ協同組合と協議の上、通訳を介して詳細を説明し理解を得られるように工夫した。

2023年10月からは、12月実施予定の日本語能力試験JLPT(N3)に向けて、過去問題集を用意し、定期巡回時に一緒に勉強するなどし、受験対策も行った。

結果

週2回の面談を定期的に行ったことで、技能実習生2名から悩みもなく、楽しく頑張っているとの話も聞く事ができ、面接以外にも、気軽に声を掛けてもらえるなど良好な関係を築くことができた。

また、入職当初から比べ日本語も上達しており、何事にも積極的に取り組んでおり、病棟課長や職員、患者からの評判も高い。

今後も、定期的な面談を継続し、安心して勤務できるようサポートを継続していき、次年度以降も外国人技能実習生の増員を目指していく。



取材後記

これまでの技能実習制度以上に、新たな育成就労制度では【定着＝長年に勤務できる環境づくり】が重要課題となります。

今回の発表内容は、細かな行動による環境づくりが大きな成果を生む例として参考となりました。その熱心な取組みに改めて敬意を表します。

アイブリッジ協同組合はその取組みを全力で支援致します。



今月の実習生紹介

社会医療法人 製鉄記念室蘭病院 (北海道室蘭市)

WIN MAR OO

(ウィン マー ウー)さん(ミャンマー出身)

Q:介護実習に応募した動機

介護の仕事に興味もあって自分ができる仕事だとおもったからです。

Q:実習で良かったこと

仕事で困ったことがあったら組合に相談 できることです。

Q:実習で苦労したこと

苦労したことは 夜勤に早く入って給料を上げたいのですが、なかなかできないことです。

Q:日本の生活で良かったこと

生活で良かったことは、スーパーや駅が近くに有ってとても便利なところ です。

Q:日本の生活で苦労したこと

苦労したのは、物価が高いことです。それから、食べたいと思うものが少ないので楽しみが無いことです。

Q:将来の夢

将来の夢は、自分の国に帰ったら日本語と介護の仕事に関する学校を開きたいと思っています。



AYE CHAM PYAE

(エイ チャン ピエ)さん(ミャンマー出身)

Q:介護実習に応募した動機

人々の生活に貢献したいという気持ちがあります。高齢者の生活を向上させるために学びたいと考えています。

Q:実習で良かったこと

新しい技術と実務経験を学ぶことができたことです。

Q:実習で苦労したこと

日本語や習慣、文化の違いに適應することです。特に、失礼や誤解を避けるためには、文化的な違いに敏感であることが重要だと思いました。

Q:日本の生活で良かったこと

日本は効率的で進んでいる国です。そのため、住みやすいとおもいます。

Q:日本の生活で苦労したこと

言語や文化に関する適應に苦労しました。新しい言語や文化に慣れることは時間がかかることもあります、一所懸命頑張っています。

Q:将来の夢

日本の高齢者介護技術を学び、母国に老人ホームを設立し、高齢者の生活を助けたいと考えています。



アイブリッジ協同組合 LINE公式アカウント



- ☑ 技能実習生の入国状況
- ☑ 新しい取り組み
- ☑ ミャンマーの国内状況
- ☑ 補助金・助成金制度
- ☑ 実習生の有効活用 などなど



LINE公式アカウント

@924wkeqs



iBridge
cooperative association

アイブリッジ協同組合

所在地 : 〒103-0027

東京都中央区日本橋3-13-5 KDX日本橋313ビル9F

T E L : 03-6228-4196 FAX:03-6228-4894

U R L : <https://www.ibridge.or.jp> mail: info@ibridge.or.jp



2024年 3月31日発行